

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成29年3月

ネズミの駆除、ペットとして飼育されていたものが遺棄されて野生化しました。鹿児島県では重要防除種に指定され、奄美大島、徳之島をはじめ、県内各地で生息していると考えられています。在来小動物を捕食・捕殺し、特に島嶼では希少種・固有種へ大きな被害がでています。ノネコを増やさないために、飼い猫は適正に管理しましょう。

1 基本情報

分類

目・科名	ネコ目ネコ科	
種名(亜種名)	ノネコ	
学名	<i>Felis catus</i>	
環境省カテゴリー	緊急対策外来種	
県カテゴリー	重要防除種	
由来	国外由来外来種	
侵略的外来種番付表	横綱(島嶼)	
番付表掲載の理由	知名度の高い外来種	
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的外来種ワースト100)	世界の侵略的外来種ワースト100 日本の侵略的外来種ワースト100	
侵入・定着の状況		
自然分布域	原種は中東～北アフリカに分布するリビアヤマネコ <i>Felis silvestris lybica</i> と考えられている。家畜種で、家畜化はエジプトで約6000年前に行われたとされている。	
県内初報告	不明	
県内への侵入の経緯	ネズミの駆除、ペットとして飼育されていたものが遺棄されて野生化した	
県内の侵入分布	県内各地(奄美大島、徳之島)	
全国の侵入分布	島嶼を含めほぼ全国	
生態学的特性		
生態	食性は肉食で、小型ほ乳類、鳥類、は虫類、両生類、昆虫類を捕食する。 単独性で排他的な、なわばりを持つ。	
形態	体重オス3～6kg、メス2.5～4.5kg。飼い猫と見た目は同じであり、体の色や模様は様々なタイプがある。	
繁殖形態	発情期は年に2～3回。5～9ヶ月齢で繁殖可能になる。産子数は平均4～5頭程度、最大9頭。メス一頭あたり、生涯に50～150頭出産可能。	
生息環境	人間の生活に依存しない場所で、主に森林に生息する。	
特記事項	ノネコ :人間の生活に依存せず、自然環境下で完全に野生化しているネコ ノラネコ:特定の飼い主を持たないが、何らかの形で人間の生活に依存しているネコ	

2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①在来小動物の捕食・捕殺。特に島嶼の希少種・固有種への被害が大きい。ネコは捕食だけでなく「遊び」としてハンティングを行うことがあり、少数のネコにより多数個体の動物が捕殺されることがある。
県内で特に予想される被害	島嶼の希少種・固有種への被害 カラスバト、アマミノクロウサギ、アマミトゲネズミ、ケナガネズミなど
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①天敵の不在。 ②ペットとして飼われていたものの遺棄。
3 対策	
ノネコとの関わり方	ノネコはもともと、ペットとして飼われていたネコです。そのため、現在飼っているネコは最後まで責任を持って飼い続けましょう。適切な繁殖制限やマイクロチップの埋め込みなどによる登録・管理を行い、室内で飼育するなど、飼い猫の適正な管理を行いましょう。
見分け方	体の色や模様、眼色、毛の質、長さにはさまざまなタイプがあり、飼い猫やノラネコと区別はつかない。 人間の生活に依存しない場所、主に森林などで確認されるネコはノネコであるおそれ大きい。
見かけやすい場所・時間	人間の生活に依存しない場所で、主に森林などで確認されるネコはノネコであるおそれ大きい。
防除方法	箱わななどによる捕獲。
防除の取組事例	徳之島では、2014年にノネコ生息状況調査を実施し、2015年からノネコの捕獲を実施している。 沖縄県では、2002年からノネコの捕獲・排除を実施している。 小笠原諸島では、2005年に「小笠原ネコに関する連絡会議」を発足し、ノネコの捕獲を実施している。
その他	奄美大島・徳之島では、飼い猫の適正飼養条例を施行（マイクロチップ装着や屋内飼育、避妊・去勢手術の努力義務化）。 北海道天売島、小笠原諸島、沖縄島やんばる地域（国頭村・大宜味村・東村）、西表島などの全国の島嶼域では、ノネコの捕獲と里親探し・飼い猫の登録制度と繁殖制限などの様々な対策が、地域ごとに取られている。
参考資料・参考URL	国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/10220.html Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ やんばる野生生物保護センター 外来種対策 ノネコ・ノイヌ http://www.ufugi-yambaru.com/torikumi/gairai_noinu.html 奄美新聞 2015年6月22日記事 http://amamishimbun.co.jp/index.php?QBLog-20150622-2 小笠原自然情報センター 自然を守る取り組み http://ogasawara-info.jp/sizenwomamorutorikumi/gutaitekiniha.html 鹿児島大学 鹿児島環境学プロジェクト 奄美の明日を考える奄美 国際ノネコ・シンポジウム記録集 http://kankyo.rdc.kagoshima-u.ac.jp/?p=5138